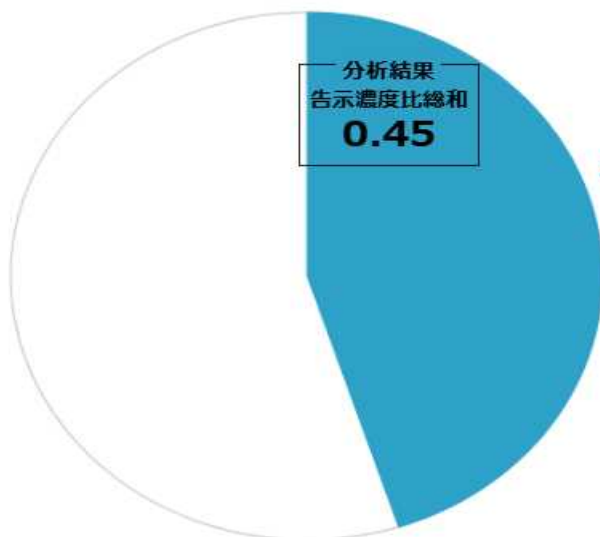


ALPS処理水の測定結果(2026年5月28日) ⇒放出基準を満足していることを確認しています



告示濃度比総和 : 1

トリチウム以外の放射性物質の濃度

告示濃度比総和 **0.45** < 規制基準 **1**

※自主的に有意に存在していないことを確認している核種は、全ての対象核種で有意に存在していないことを確認しました。

トリチウム濃度 **17万Bq/L**

100万Bq/L未満であることを確認しました。

※ALPS処理水でトリチウム濃度が高いものは、時間経過に伴う放射能の自然減衰を考慮し、放出期間の後段で放出することとしています。これを実施計画上、100万Bq/Lを上限として示しています（トリチウム濃度が低いものから順次放出）

※上記のトリチウム濃度は、トリチウムの告示濃度限度（60,000Bq/L）に対する比（希釈前の告示濃度比）で<2.83>ですが、海洋放出時は大量の海水で希釈することで規制基準を満たします（740倍で希釈した場合で、トリチウムの告示濃度比は<0.0038>）

当社委託外部機関（化研）の測定結果

- ▶トリチウムの濃度：16万Bq/L
- ▶トリチウム以外の放射性物質の告示濃度比総和：0.49

[データの詳細はこちら](#)